



## まえがき

このたびは、ビシャモンのリフターBXシリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を熟読いただき、十分にご納得になった上でご使用ください。なお、この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失された場合には速やかに販売会社にご請求ください。また、製品に貼り付けてある警告ラベル等が剥がれた場合にも販売会社にご請求ください。

### 用語および記号の説明










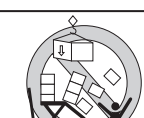


 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険および物的損傷の発生が想定されます。


## 目次

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 1. 使用上の注意 | 6. 標準本体仕様諸元      |
| 2. 各部の名称  | 7. 油圧回路図・電気回路図   |
| 3. 始業点検   | 8. 廃棄            |
| 4. 操作方法   | 9. 商品保証規定        |
| 5. メンテナンス | 10. アフターサービスについて |

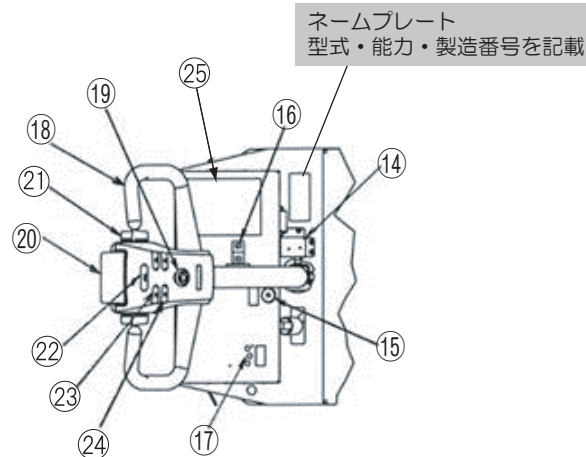
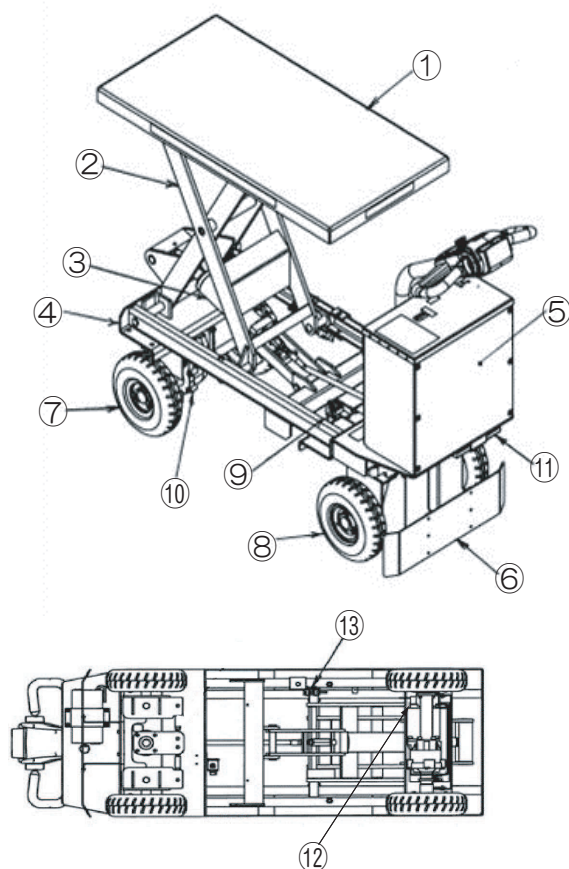
# 1

## 使用上の注意

 <b>警告</b>			
下記の注意事項に違反すると重大な人身事故につながりますので必ず守ってください。			
			
作業中にリンク機構の中に手足を入れないこと。	リフターを移動する時には前後に人がいないことを確認してください。	荷物を高い位置にしたまま移動や旋回をしないでください。転倒や荷崩れにつながります。	人を乗せないでください。人の転落やリフターの転倒につながります。
			
テーブルの下に入らないでください。	段差のある場所では注意して移動してください。転落や転倒の危険があります。	傾斜地ではリフターを使用しないでください。転倒や暴走につながります。	走行時ホイールから足を離してください。ひかれて怪我をすることがあります。
			
テーブルに過積載をしないでください。本体の破損や荷崩れにつながります。	バッテリーターミナルはカバーで完全に覆ってください。ショートによる火災や感電の危険があります。	充電時は火気厳禁。バッテリーの取扱は取扱説明書をよく読んで行ってください。	

 <b>注意</b>
1. 取扱説明書をよく読んで理解してからご使用ください。誤った操作は事故につながります。
2. 本機は定格荷重以下の荷物をテーブルによって上昇下降させる移動式のリフターです。本来の目的以外に使用しないでください。
3. 本機の使用は使用方法を熟知した人に限定してください。
4. テーブルに偏った荷重をかけることはやめてください。テーブル面の80%以上に等分布荷重になるようにして使用してください。荷崩れしたり故障の原因になります。
5. 常に荷物の状態には注目し、もし荷物が不安定な状態になった時には操作をやめて荷物を整えてください。荷崩れの危険があります。
6. 本機は耐水仕様にはなっておりません。乾燥した所でご使用ください。
7. 取扱説明書に従って点検を必ず実施してください。
8. 本機を許可なく改造しないでください。
9. 移動時にフレームと床との隙間や車輪に足を挟まれないように十分距離をとってください。
10. 万一本機が暴走した場合は直ぐに非常停止スイッチを押すか、電源を切ってください。
11. 作業者がリフターから離れる時は、事故を防止するためにも電源を切ってください。
12. 昇降時に35秒以上の連続運転をしないでください。モーターが過熱します。
13. バッテリー、ヒューズなどの電気部品の交換を行う場合にはバッテリーの[-]側ターミナルを外してから作業を行ってください。
14. バッテリーは使すぎると過放電状態になり寿命が低下します。
15. 本機を運搬する際には、傾けたり倒したりしないでください。油漏れや故障の原因になります。
16. フォークリフト等のフォークをフレーム下部に入れて運搬しないでください。
17. 修理や点検を行う時にはテーブルから荷物を降ろして行ってください。

## 2 各部の名称



①	テーブル	⑭	ハンドル旋回検出LS
②	リンク	⑮	ローリングスピードバルブ
③	油圧シリンダー	⑯	電源スイッチ（ブレーカー）
④	フレーム	⑰	バッテリー残量表示
⑤	油圧ユニット	⑱	操作ハンドル
⑥	フットガード（オプション）	⑲	非常停止スイッチ
⑦	駆動輪（ノーパンクタイヤ）	⑳	セフティスイッチ
⑧	操舵輪（ノーパンクタイヤ）	㉑	パタフライスイッチ
⑨	テーブル高さ検出LS	㉒	ホーン
⑩	走行デフモーター	㉓	上昇押釦スイッチ
⑪	充電器	㉔	下降押釦スイッチ
⑫	ブレーキ解除レバー	㉕	コーションシール
⑬	上限LS		

## 3 始業点検

点検は本機を安全にご使用いただくため、また不具合箇所を早期に発見するため大きな役割を果たします。作業を始める前に下記の事項を点検してください。

### ⚠ 注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリフトの使用を禁止してください。そのままお使いになるとリフトの破損および事故につながる危険性があります。

### ＜毎日作業前に実施してください＞

1. 外観上で傷・曲がり・亀裂などはないか。
2. 油圧シリンダーからオイル漏れはないか。
3. 上昇後テーブルが自然に降下しないか。
4. 駆動輪、操舵輪の動きは良好か。
5. 操作ハンドルの動きは正常で著しい遊びやガタはないか。
6. パタフライスイッチの動きはスムーズで、手を離せば常にニュートラルに戻るか。  
また、前進、後進、高速、低速すべて確実に作動するか。
7. ブレーキの効きは良好か。
8. 電源スイッチ（ブレーカー）、非常停止スイッチは正常に作動するか。
9. 各ボルト・ナット類はしっかりと取り付けられているか。
10. 電源をONにして充電レベルをチェックすること。
11. 電源をONにして上昇・下降状態をチェックすること。
12. 高圧ホースまたはテーブルに傷がないか目視でチェックすること。
13. ケーブル・走行デフモーター・操作ハンドルの外傷や引っ掛かりはないか。



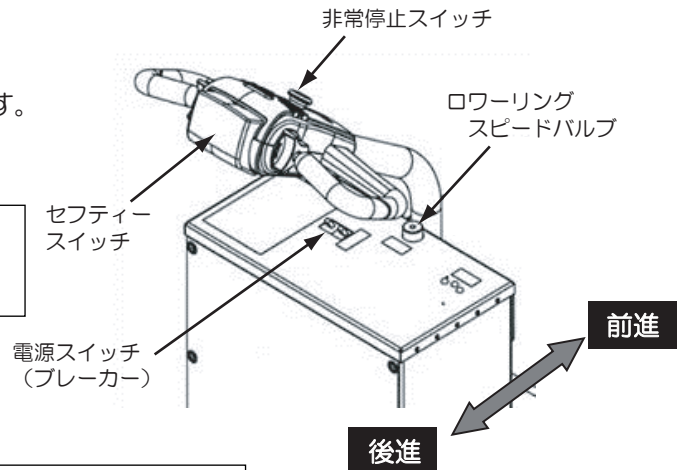
# 4 操作方法

## 1. 使用準備

- ① 電源スイッチ（ブレーカー）を「ON」にします。
- ② 非常停止スイッチが押されていないことを確認します。  
（ボタンを右に回すと非常停止が解除します）

### ⚠ 注意

電源スイッチ（ブレーカー）は過負荷運転を行うと、モーターの保護のために自動的に「OFF」になります。



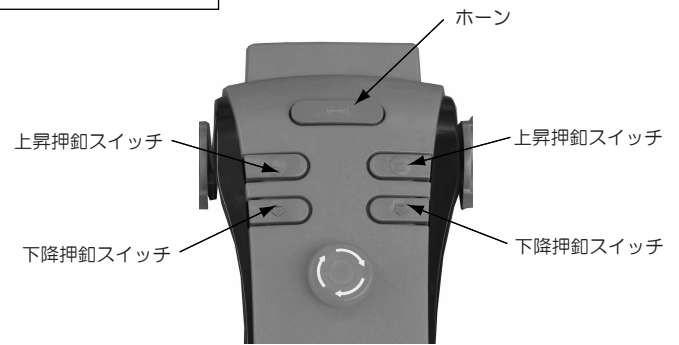
## 2. テーブルの上昇

### ⚠ 注意

最大能力 BX50A 500kg  
BX75A 750kg これを超える荷物を載せないでください。

### ⚠ 注意

- ・ テーブルの一点に荷重をかけたり、テーブル先端や片方に偏った荷重をかけるのはやめてください。荷崩れや事故の原因になります。
- ・ 長時間継続的に使用すると、パワーパックが損傷するおそれがあります。
- ・ 油圧作動油の温度が高くなりすぎたら操作をやめてください。



- ① 操作ハンドル上面の上昇押釦スイッチを押してください。押している間テーブルが上昇し、離すと停止します。  
（上限に達すると上限LSが働き、上昇押釦スイッチを押してもテーブルは上昇しません）

### 解説

テーブルは油圧シリンダーにより保持しています。油圧機器の性質上テーブルは微少ながら降下していきます。テーブルを長時間保持することはできませんのでご承知ください。

## 3. テーブルの下降

### ⚠ 警告

- ・ リンク機構の中に手足を入れないこと。はさまれて怪我をします。
- ・ テーブルに荷物を載せたまま急発進、急停止させないでください。リフターが損傷するおそれがあります。安全に留意し、ローリングスピードバルブで下降速度調整してください。

- ① ハンドル上面の下降押釦スイッチを押してください。押している間テーブルが下降し、離すと停止します。

## 4. ローリングスピードバルブ

- ① ローリングスピードバルブのつまみを回すことで下降速度の調整ができます。

時計回り (FAST) ……速い  
反時計回り (SLOW) ……遅い



ローリングスピードバルブ  
※ニュートラル（標準速度）位置

## 5. ホーン

- ① 押すと警告音が鳴ります。

## 6. 走行操作

### ⚠ 警告

- ・ 傾斜地での走行および停止をしないでください。  
走行操作ができなくなったり、転倒や荷崩れをすることがあります。
- ・ 荷物を高い位置にしたまま急発進、急旋回をしないでください。転倒や荷崩れにつながります。

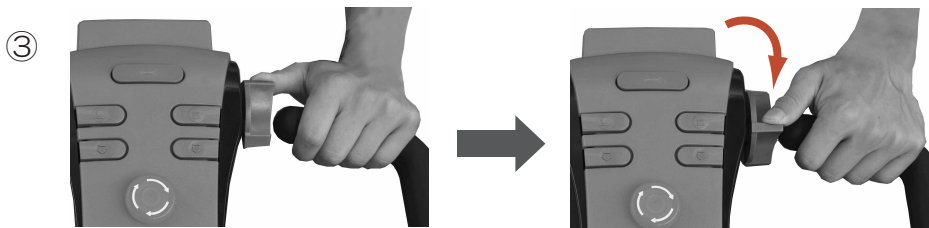
### ⚠ 注意

- ・ テーブルの上に荷物が載っている場合は、走行時の振動で荷崩れしないよう対策してください。  
また、テーブルの位置（重心）をできるだけ低い位置まで下降させてからリフターを走行させてください。
- ・ 操作ハンドルはしっかりと持って操作してください。
- ・ 常にリフター周辺の安全や荷崩れなどに気を配りながら慎重に走行させてください。

### 【バタフライスイッチ】

- ① バタフライスイッチはハンドルの左右に付いており、左右のレバーは連動しています。
- ② バタフライスイッチの回転方向によりリフターの前進／後進が決まります。
- ③ バタフライスイッチの回転角度により、前進／後進とも無段階で速度が変化します。（多く回転させるほど速度は上がります）
- ④ バタフライスイッチを元の位置に戻すとリフターは停止します。

※バタフライスイッチは、スイッチから手を離せば常に元の停止位置に戻るようにになっています。



例：前進の場合 スイッチに添えた親指でニュートラル位置にあるスイッチを奥（前進方向）にゆっくり回します。リフターが前進します。スイッチは、回すほど走行速度が速くなります。

※後進する場合はスイッチをニュートラル位置より手前（後進方向）にゆっくり回してください。（上図③）

### ■ 微速走行について

バッテリーの消耗等でバッテリー残量表示が赤色点滅の状態で使用していると、バッテリー保護機能が働き、微速走行に切り替わります。この状態になった場合はすぐに充電を行ってください。充電が完了すると保護機能は解除されます。※「9. バッテリーの充電について」参照

### ⚠ 注意

バッテリー残量表示の黄色ランプが点灯したら速やかに充電を行ってください。

バッテリー保護機能が働いて微速走行になり、充電場所までの間に走行できなくなった場合は、モーターブレーキ解除レバーでブレーキを解除することで手動にて移動させることができます。

※「8. エラーについて」参照

## 7. 安全装置

### 【非常停止スイッチ】

- ① 緊急で停止させたい場合は非常停止スイッチを押します。
- ② 解除する場合は非常停止スイッチを右に回してください。

### 【セフティースイッチ】

- ① 後進時に背後の壁などに挟まれた際、怪我や事故を防止するためにセフティースイッチが作動します。
- ② 体が挟まれるなどでセフティースイッチが強い衝撃を受けると、リフターが一旦停止し、その後反動で前進します。  
(セフティースイッチが押されている間前進し、離れると停止します)



## 8. エラーについて

### <リフター走行中のエラー>

バッテリー保護機能が働いて微速走行になり、充電場所までの間に走行できなくなった場合は、モーターブレーキ解除レバーでブレーキを解除することで手動にて移動させることができます。

- ブレーキ解除：右前輪内側にあるモーターブレーキ解除レバーを上上げて解除してください。



モーターブレーキ解除レバー（赤色）  
※上図はロック状態

※手動でリフターを移動させ、速やかに充電を行ってください。

※モーターブレーキ解除レバーを解除するとエラーの状態となっていますので、電動走行ができません。  
バッテリーの充電等で走行可能となりましたら、モーターブレーキ解除レバーをロックしてください。

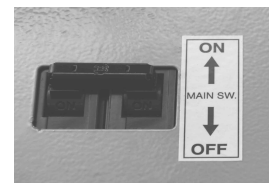
### <テーブル昇降中のエラー>

テーブルの昇降は走行動作と比較してバッテリーの消費が大きくなります。

バッテリーの消耗等でバッテリー残量表示が赤色点滅の状態で使用し、さらに大きな電圧低下が起きると、コントローラーエラーによりリフトの走行ができなくなることがあります。

テーブルの昇降動作後にエラーで走行できなくなった場合は、「電源リセット」を行うことにより走行可能となります。（バッテリー消耗の大きいリフトの昇降はできるだけしないでください）

- 電源リセット：電源スイッチ（ブレーカー）を一旦OFFにし、1秒以上経過後にONにしてください。



電源スイッチ（ブレーカー）  
※上図はONの状態

※リフトを移動させ、速やかに充電を行ってください。

※途中で電動走行できなくなった場合は、上記<リフトの走行中のエラー>の方法で手動にて移動させてください。

### ⚠注意

バッテリー残量表示の黄色ランプが点灯したら速やかに充電を行ってください。



## 9. バッテリーの充電について

### ⚠注意

充電時は必ず電源スイッチ（ブレーカー）を「OFF」にしてから行ってください。

※「ON」の状態でも充電可能ですが、充電中に機体が動いて充電ケーブルを切断するなどのおそれがあり、危険です。

### <充電方法>

油圧ユニット底面にある充電器に付属のコードを差し込み、コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

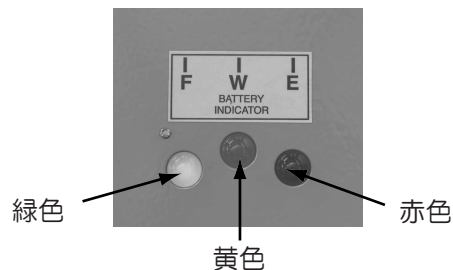


### <バッテリー残量表示>

バッテリーの電圧を3色ランプ（緑色・黄色・赤色）で表示します。

ランプ表示は電圧の高い方から緑色<点灯>→黄色<点灯>→赤色<点灯>→赤色<点滅>の順に表示されます。

（バッテリー充電の目安にしてください）



緑色ランプ点灯・・・バッテリーの電圧良好

黄色ランプ点灯・・・バッテリーの電圧が低下している（充電を行うようにしてください）

赤色ランプ点灯・・・バッテリーの充電必要

赤色ランプ点滅・・・バッテリーの充電がすぐに必要

※1. リフターの「走行」と「昇降」動作では、動作中のバッテリー電圧降下量に違いがあります。リフターの「上昇」は電圧降下が大きいので、充電後でもすぐに「上昇」を行った場合に、積載荷重によっては黄色点灯する場合がありますが、異常ではありません。

※2. バッテリーの充電は、早めの充電を心掛けるようにしてください。

リフター使用中に黄色ランプが点灯するようになったら、速やかに充電を行うようにしてください。また、バッテリーが極端に消耗すると3色ランプ（緑色・黄色・赤色）が全て点滅することがあります。

このような状態まで使用するとバッテリーの劣化が進み寿命が短くなり、バッテリー交換が必要になる場合がありますので注意してください。

## <充電器>



充電ランプ（赤色）

充電ランプ（緑色）

### ●充電ランプ（赤色の表示）

電源ランプ（赤色）は付属のコードを充電器に差し込み、コードのプラグをコンセント（100V）に差し込むと点灯します。

### ●充電ランプ（緑色）の表示

電源ランプ（緑色）は電源ランプの点灯と同時に点滅を開始し、充電状態であることを表します。充電が完了すると点灯に変わり、充電が完了したことを表します。

## ⚠ 注意

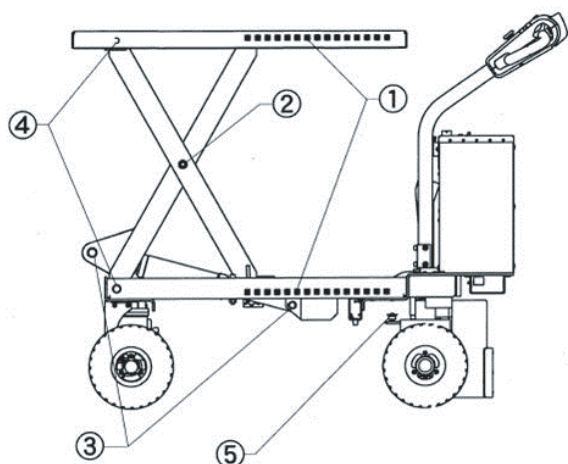
- ・バッテリーの寿命は、環境や使用方法次第で大きく変わります。  
バッテリーを長持ちさせるためには、早めに（バッテリー残量表示が黄色ランプのうちに）充電を行うようにしてください。
- ・一日の作業終了後は電源スイッチ（ブレーカー）を「OFF」にしてください。  
「ON」のまま放置するとバッテリーの放電をまねきます。  
バッテリーは、一定の電圧が放電すると充電できなくなります。（バッテリーの交換が必要となります）
- ・過充電、急速充電は禁止
- ・100%放電禁止
- ・充電時は火気厳禁
- ・充電器のアースを接地させてください。
- ・充電器を分解しないでください。
- ・充電器のヒューズを交換する前には、電源コードを抜いてください。

## 5 メンテナンス

必ず定期的にメンテナンスを行ってください。

1. リンクのローラー摺動面へのグリスアップ、各部への注油（1ヶ月毎）
2. 油圧作動油の交換（12ヶ月毎）

### 注油箇所



- ①ローラー摺動面（グリス塗布）
- ②リンク部（グリスアップ）
- ③シリンダー取付部（グリスアップ）
- ④リンク支点ピン部（注油）
- ⑤リヤタイヤロッド部（グリスアップ）

### 油圧作動油の種類

粘度区分 ISO VG32 耐摩耗性油圧作動油

## 6 標準本体仕様諸元

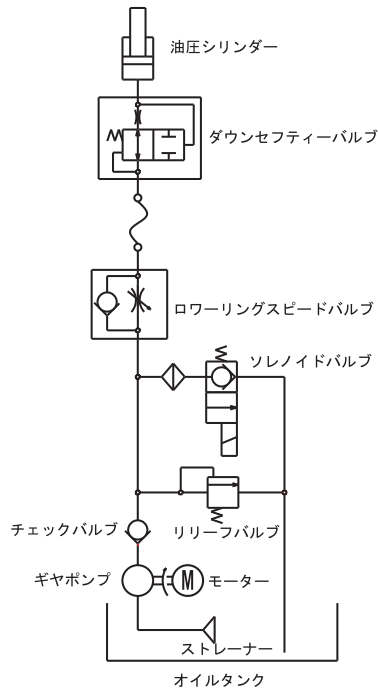
型式		BX50A	BX75A
能力		500kg	750kg
揚程		560mm	545mm
最低テーブル高さ		570mm	
最高テーブル高さ		1130mm（負荷時）	1115mm（負荷時）
テーブル寸法		1010×518mm	
操舵角		MAX45°	
上昇モーター		DC24V 0.55kw	DC24V 2.0kw
走行デフモーター		DC24V 0.4kw	
電源（バッテリー）		DC24V 30Ah（5時間率）	
充電器（内蔵）	入力電圧	AC100V	
	出力電圧・電流	DC30V・4A	
油圧シリンダー		φ60mm×104mm	
オイル		ISO VG32 油圧作動油	
給油量		0.64L	
上昇時間		約11秒（負荷時）	約15秒（負荷時）
走行速度 ※フル充電時	無負荷時	MAX 4.0km/h	
	負荷時	MAX 3.7km/h（参考値）	MAX 3.5km/h（参考値）
操作方法	昇降	ハンドル押釦スイッチ	
	走行	ハンドルバタフライスイッチ	
安全装置・機能		セフティースイッチ（作動後前進） 非常停止スイッチ（作動後昇降・走行動作停止） 操舵角両側30度にて速度2km/hに減速 テーブル高さ850mm以上で速度2km/hに減速 スロースタート・スローストップ	
自重		約220kg	約230kg
オプション		フットガード	



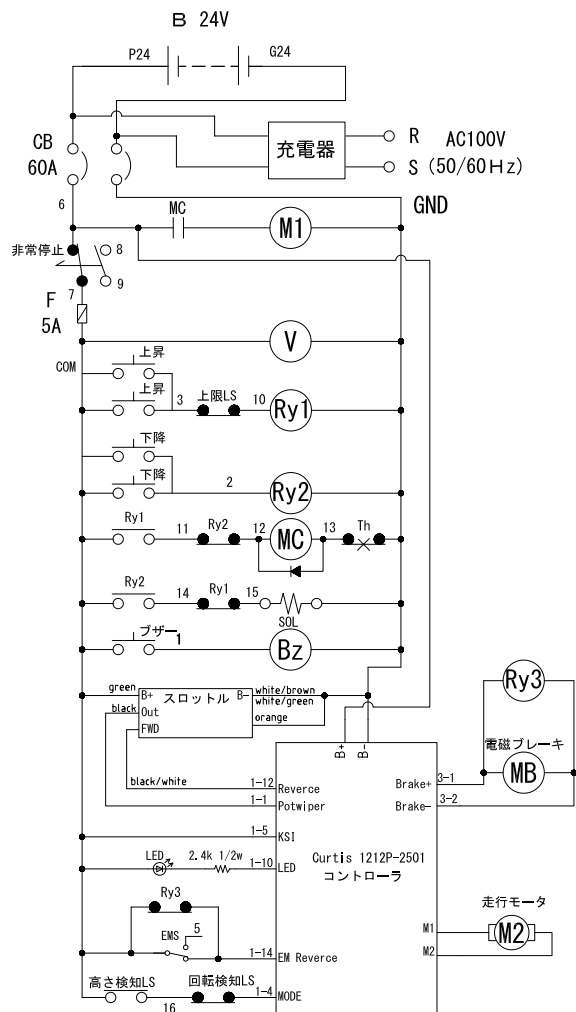
# 7

## 油圧回路図・電気回路図

### ■ 油圧回路図



### ■ 電気回路図



## 8 廃棄

本製品の廃棄については、鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油等に分別してください。作動油の処理方法については法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理願います。  
ご不明の場合は販売会社へ相談のうえ処理してください。

## 9 品質の保証

### 保証規定

取扱説明書、本体注意シール等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後3ヶ月以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をいたします。  
ただし、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

1. 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
2. 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
3. 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
4. 火災・地震・風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
5. 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
6. 日本国以外で使用される場合。
7. 保証請求手続きが不備の場合（例：形式および機体番号の連絡が無い場合etc.）
8. 設置に原因がある故障および損傷。
9. 弊社販売会社および弊社以外で行われた修理。
10. 酷使・過失または事故によって生じたと認められる故障。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗部品については保証の適用は除外させていただきます。

本製品は屋外設置および耐水仕様になっておりませんので、錆・腐食・漏電等の水による故障は保証いたしておりません。

### 保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご一報ください。  
販売会社において必要な手続きを実施いたします。  
なお、保証の可否は大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

## 10 アフターサービスについて

調子が悪い時	まずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時は	商品規定に従い修理いたしますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納品後3ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。
保証期間後の修理について	お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間について	本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後10年間です。 (性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です)

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。

お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

型 式	
機 体 番 号	No.
購 入 年 月 日	年 月 日
購 入 店 名	社 名： 担 当 者：
	住 所： 電 話：
設 置 業 者	社 名： 担 当 者：
	住 所： 電 話：
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日 状 況：

# MEMO





<http://bishamon.co.jp> E-mail:sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町四丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844  
〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723  
〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

【その他営業拠点】 仙台・前橋・広島・福岡

OM-BX50A,75A 2205⑤1801-S